

2014年9月22日(月)

神奈川新聞 教育面掲載 ザ・チャレンジ

ザ・チャレンジ

(大学受験編)



CG高等館
東進衛星予備
校各校舎で無
料配布中

だんだんと暑さもやわらぎ、秋がやってきました。受験生においては、それぞれの志望校も決まり、過去問研究などの対策を始める時期になりました。

一方、高校1・2年生は「文理」の選択や「国公立・私立」の選択など、自分自身の「将来設計」をしていく時期です。今回は、それについて触れたいと思います。そもそも大学では何を学ぶのでしょうか。もちろん学部や学科によって学ぶ内容はさまざまですが、高校までの「知識を学ぶ勉強」に対して、大学では「答えを得る勉強」に取り組みます。それぞれの興味や関心がある分野を通じて、自分自身の「課題解決能力」

Q. 将来設計で重要なことは？

を養うのです。

それゆえに「自分が将来何になりたいのか」「何をしたいのか」を考え、そのための勉強をするには、どの大学・学部・学科に進学すればよいのかを考える必要があります。

それには各大学のオープンキャンパスや、大学祭、さまざまなイベントに参加し、情報を集めることが大切です。同じ名前の学部・学科でも、大学によって少しずつ特徴が違ってきます。資料を見るだけではなく、自分で直接大学に



A. 「非日常的な刺激」を得ること

行ったり話を聞いたりすることで、将来のイメージがしやすくなります。

そのためのイベントの一つを紹介したいと思います。それは9月27日(土)にパシフィコ横浜で開催される「大学進学フェスタ」です。毎年この時期に開かれており、昨年は6千人以上が来場しました。大学の担当者や直接話ができる「入試相談コーナー」、大学の学びや研究内容を体験できる「学びの体験コーナー」や「模擬授業コーナー」など、実に100以上の大学の情報を集めることができます。

「自分がやりたいこと」を見つけるのは、なかなか簡単なことではありません。「非日常的な刺激」を自ら求め、行動することが重要です。オープンキャンパスや先ほど紹介したイベントに参加することによって、普段とは違う刺激を受けてみてください。そうすることで自分の将来へのイメージが膨らみ、「将来設計」のきつかけになるのではないのでしょうか。

(CG高等館 東進衛星予備校)